

## 環境啓発施設視察報告

- 1 目的 むさしのエコレポートが開館から2年を経過し、今後の事業の実施・体制等を検討する上で参考にするため。
- 2 視察先 ①環境学習施設港区立エコプラザ  
②品川区立環境学習交流施設エколとごし  
③環境学習情報館えこっくる江東
- 3 視察日 ①②令和4年11月29日  
③令和4年12月20日
- 4 視察者 環境啓発施設担当課長 環境啓発施設係職員
- 5 視察内容 施設見学及び質疑応答  
講座・ワークショップ・展示等の企画・実施。HP・SNS・情報誌等による情報発信。環境団体等と連携した取組み。運営体制の課題。ボランティア他。
- 6 視察結果（主な特長）

## ① 環境学習施設港区立エコプラザ 指定管理：港区エコみらいプロジェクト

常設展示コーナー（区の施策と連動）	ビオトープの生成と館内の緑化
講座のサポート等に地域の学生ボランティアを起用	古着回収、蛍光灯、玩具の拠点回収
ボランティア組織のための養成講座	メールマガジン（公式LINE）読者1万人
あきる野市の森林間伐材を利用	140講座の開催（HPからの申込可）

## ② 品川区立環境学習交流施設エколとごし 指定管理：アクティオ株式会社

公共施設として初のZEB認証取得	映像展示バランスプラネット
メディアへの積極的なアプローチ	コミュニティラウンジでの飲食
広報担当者限定によるSNSのデザイン統一	多摩産スギ・ヒノキの施設使用
開設以来半年で10万人の来場	ロゴに合わせた色・図形で掲示物を統一
地域交流室を自治会当地域活動の場に提供	メルマガ代替えのLINE
講座名の言葉選び	講座申込はHPのフォームから

## ③ 環境学習情報館えこっくる江東 直営：江東区

「ごみ戦争コーナー」の常設展示	登録団体へ講座の企画を委託
ごみ・埋立地の再生の象徴としての生物多様性の常設展示	講座実施結果の評価を委託先と共有
ごみの分別、資源循環、大量廃棄等を見て触れる展示	区広報誌に常設のえこっくるコーナー
空き缶リサイクルブロック展示	コロナ禍でエコリーダー・サポーター中止
施設にビオトープを整備 埋立地での多様な種の生息	

## 7 今後の視察予定

1月31日 板橋区立エコポリスセンター

同上 環境学習情報センターエコギャラリー新宿